

ま え が き

令和4年4月より新学習指導要領が年次進行で実施される中、各学校においては、学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するために、教科等横断的な視点から教育課程を編成し、実施していただいているところです。

また、社会が急速に変化するこれからの時代における学びとして、各教科での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育である「STEAM教育」への関心が高まる中、各学校の教育活動において、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら探究的な学習活動を充実し各教科等の学習を深めることや、「総合的な探究の時間」等を中心に複数の教科等の見方・考え方を総合的・統一的に生かしていく探究活動を充実させていくことなどが求められています。

これらを踏まえ、本手引では、教育課程の編成に係る事項のほかに、各教科ごとに「総合的な探究の時間」や他教科等との関連を明示した「教科等横断的な視点を意識した年間指導計画」の例を掲載するとともに、「指導と評価の一体化」を図る学習指導の実践を踏まえた「新学習指導要領における指導と評価の計画例」を掲載しています。また、指導と評価の計画の作成に活用できるよう、学習指導案や多様な評価方法等についても触れております。

各学校において、本手引を十分に活用して、生徒の資質・能力を育む効果的な指導の充実を図るとともに、それぞれの地域や学校の実態に応じた、創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成・実施するよう願っております。

令和4年（2022年）10月

北海道教育庁学校教育局高校教育課長

山 城 宏 一